



大阪府議会2月定例会
 今月は、政調会で全部局からの説明聴取を終え、16日に2月定例会の召集告示がありました。翌日から、各議員が所属している常任委員会別に、委員協議会を開催し、上程議案・来年度予算案の詳細な説明聴取も終了。
 橋下知事3度目の予算案等の審議は、23日から。

刊 員 書
 1997年6月 大阪府議会議員 活動報告
ただいま活動中!
土井達也
 はつきり発言! しつかり報告!

来年度予算案

一般会計部別表

部	(単位:億円)		
	平成21年度 当初予算額	平成22年度 当初予算額	対前年度 当初比
政策企画部	140	129	92.4%
総務部	7,945	14,667	184.6%
府民文化部	1,186	968	81.6%
福祉部	3,398	4,100	120.7%
健康医療部	721	728	101.1%
商工労働部	5,411	7,824	144.6%
環境農林水産部	208	182	87.7%
都市整備部	2,009	1,663	82.8%
住宅街づくり部	1,001	665	66.4%
公安委員会	2,617	2,529	96.6%
教育委員会	5,762	5,730	99.4%
合計	30,397	39,184	128.9%

2010年(平成22年)2月
 Vol.133
 発行部数累計:1,631,021部

大阪府議会議員 無所属
 健康福祉常任委員
 決算特別委員

土井達也公式Webサイト
<http://www.tdoi.net>

執筆・印刷:土井達也
 住所:尾崎町93-6
 TEL:471-7357
 FAX:471-8004
 E-Mail:t.doi@nifty.com
<http://www.tdoi.net/>

一般会計の来年度予算案で、部別の歳出を上表に掲載しました。特別会計は、裏面です。
 個別の新規・重点事業案は、この報告書の前月号裏面に掲載済みです。
 現在のところ、議会の議決を控えていますので、すべて『案』です。今後、2月定例会で審議し、修正などを経て採決し確定します。

総務部だけで、1兆円超?

総務部の平成22年度当初予算額を見ると、1兆4667億円で、前年度比184%の伸びです。

「人件費はあるだろうけれど、どうして総務という管理部門で約1兆5千億円も必要なんだ!」ということなんですが、これは、今まで減債基金など8基金からの借入れで一般会計の財政運営を行ってきたのを止めるため(一部22年度も継続)、『会計処理』

を行うと、こうなるということです。
 昨年秋の決算委員会の争

点の一つでした。財政運営の健全化のため、過去の基金からの借入れを清算します。単式簿記で分かり難いのですが、借入金と基金を相殺し、その借入金額を一般会計に繰入れる『会計処理』。過去の財政運営に使われた金額を精算するので、平成22年度に現金が動くわけではありません。

商工労働部の伸びも大きいのですが、これは、現下の不況に対応するため、制度融資枠を過去最高の1兆3千億円まで拡大するのに生じる大阪府の負担増や雇用対策、成長戦略の新工業振興などです。

特別会計会計別表

(単位:億円)

会計名	H21年度当初予算額	H22年度当初予算額	対前年度当初比
府 営 印 刷 所	4	4	90.4%
流 域 下 水 道 事 業	739	731	99.0%
港 湾 整 備 事 業	154	128	83.2%
関西国際空港関連事業	250	147	58.9%
箕面北部丘陵整備事業	82	93	112.2%
不 動 産 調 達	45	0	0.0%
公 債 管 理	8,727	8,440	96.7%
市町村施設整備資金	91	91	100.0%
証紙収入金整理	122	119	97.5%
母子寡婦福祉資金	11	12	113.8%
中小企業振興資金	55	35	64.1%
農業改良資金	0.865	0.896	103.5%
沿岸漁業改善資金	0.397	0.395	99.6%
林業改善資金	0.168	0.167	99.8%
中央卸売市場事業	22	20	94.7%
地域整備事業	341	278	81.6%
まちづくり促進事業	351	202	57.7%
水 道 事 業	638	556	87.2%
工業用水道事業	144	139	96.4%
合 計	11,776	10,999	93.4%

3番目に伸び率の大きいのが120%の福祉部です。これは、主に民主党公約の「子ども手当」

特別会計は、約1兆円

で、国から大阪府で受けて、府内市町村に交付します。

1兆円です。

特別会計の予算案歳出は、左表のとおりです。特別会計の合計は、約

予算編成過程の透明化

大阪府の予算編成過程は、現在フル・オープンになっています。府議になった当初、よく知事要望などで取り上げていました。

今から10数年前、私が20代後半から阪南市議になる頃、三重県では北川知事が辣腕を振るっていました。その頃、三重県のHPを見て驚いたのは、予算編成過程がフル・オープンになっ

ていたことと全事務事業の評価表がフル・オープンになっていたこと。「この知事、本当にすごいな」と心底驚いたのを覚えています。10数年の時を経て、大阪府でも、現在、予算編成過程がHPでフル・オープンになりました。

北川さんが、現在大阪府顧問になっているので、当然といえば当然なんです。

地方分権

地方分権というとき、通常、国から地方へ、権限・財源の委譲を言いますが、府内分権というのもあります。

大阪府の知事の権限に属する事務を府内市町村へ委譲するもので、「大阪版地方分権推進制度」と言います。現在、希望する府内市

町村へ中核市並みの権限を委譲していつてます。国との関係では、日本は地方分権国家だと思っ

ている方は多いかもしれませんが、現状は、まったくの中央集権国家です。今さらですが、なぜ地方分権なのかを含め、お伝えしたいことが山のようにあるので、来月号で。